

## ukulele oihata ウクレレ弦(レギュラーシリーズ)の特徴



### レギュラーシリーズのパッケージ

ゲージセットは Light, Medium, Hard, Light-LowG, Medium-LowG, Hard-LowG の 6 種

- ・ しなやかなフロロカーボン糸を採用し、フロロカーボン弦の利点であります高音量・高音質を保ちながら、フロロカーボン弦の欠点でありますテンションの厳しさを抑え、ウクレレとの相性をより向上させております。
- ・ ハワイアンコアとの相性を重視し、フロロ弦特有の金属的な鳴りの高音域を抑え、中低音域のレンジを豊富にし、さらに1弦から4弦までの音量のとのバランスを考慮したセッティングによりフロロ弦らしからぬ甘く品の良い鳴りに仕上げしております。
- ・ 上記利点により、フロントボードの薄いウクレレに使用してもフロントボードの反り及び破損を既存のフロロカーボン弦より軽減することができ、またハイポジションでの押さえやすさが飛躍的に向上しております。

- ・ ローG仕様の4thには、フロロカーボン糸ではなく、オータサン等ローGのプレーヤーが絶賛しているドイツの高級クラシック弦 Hannabach のイエローパッケージ(スパーローゲージ)の4th巻弦を採用しております。

(フロロカーボン糸をローGに使用した場合、音量・音質ともバランスが悪くなってしまいます。これは、フロロカーボン糸の特性上、0.04インチ以上のゲージになると極端に品質が落ちてしまうことも影響しております。

また、ローGのプレーヤーの場合、音の面からフロロカーボン糸オンリーで設定する者はとても少ないものと思います。しかしながらクラシックギターのミディアムゲージ程度の4th巻弦をウクレレに使用した場合、ローG弦の音のみとても大きくなってしまい、音量のバランスを欠いてしまいます。

従いまして、巻弦としては最も細く、かつ、ローテンションの Hannabach のイエローパッケージ(スパーローゲージ)を採用しております。

### ・ 他社フロロ弦とのゲージ比較

	1st	2nd	3rd	4th
ライトゲージ				
oihata	0.0204	0.0259	0.0291	0.0224
worth	0.0185	0.0260	0.0291	0.0205
ミディアムゲージ				
oihata	0.0224	0.0259	0.0307	0.0244
worth	0.0205	0.0260	0.0291	0.0224
ハード(worth テナー)				
oihata	0.0244	0.0275	0.0310	0.0259
worth	0.0224	0.0260	0.0291	0.0244



ukulele oihata

http://www.oihata.com/  
e-mail satoshi@oihata.com  
phone&fax +81 0138 40 5088  
1-17-5 Tomioka-cho, Hakodate,  
Hokkaido, 041-0811 JAPAN